

平成26年度岐阜県人権懇話会

会議要旨

- 1 日時：平成26年6月10日（火） 10：00～12：00
- 2 場所：岐阜県庁 議会東棟2階 第二面会室
- 3 説明内容（事務局より説明）
 - (1) 人権施策に係る平成25年度事業実施結果及び平成26年度の事業計画等について
 - ・平成25年度人権施策の総合的かつ効果的な推進方針(重点取組課題への対応、実施結果)
 - ・岐阜県の人権施策の取組状況について
 - ・平成26年度人権施策の総合的かつ効果的な推進方針
- 4 意見交換
 - (1) 最近の人権を取り巻く状況について
 - (2) 効果的な人権啓発の手法について
 - (3) その他

【内容】

(委員)

- ・外国の人が多く生活している地域など、風俗、習慣が違う中、人権ということに対してどのように考えていけばよいのか。
- ・文化が違う人々と違和感なしに「共生」ができるような社会をどうつくっていくかについて、県や市町村でそのことを真剣に考えないといけない。
- ・外国の人に日本のルールをどうやってきちんと理解してもらうかなど、相互の理解を深めることに配慮しながら考えていかなければならない。

(事務局)

- ・県の環境生活部に多文化共生の部署があるので、それらについて、ある程度認識して施策を進めていると思うが、今のご意見を踏まえて、今後の参考にさせていただく。

(委員)

- ・社会は急激に変化することはできないが、日常生活の中で、周りの偏見や差別等に対して声をかけていくことが人権問題を変えていく大きなポイントになるだろう。
- ・子どもは、テレビからいろいろな言葉を知り、相手の心を全然忖度せずに使ってしまう。相手を思いやる心、相手の身になって考えるというのは想像力。学校教育の中で想像力を豊かにしていくことをベースにしないといけないのではないかな。
- ・DVなどの相談件数の増加は、女性の人権に対する意識が向上してきたからではないかな。自分を大事にすることが、他人を思いやる心をはぐくみ、DVなどを無くすことにつながっていくだろう。
- ・学校などのお母さん達が集まる場所に、女性や子どもの人権侵害に関するポスターが貼ってあることで、困っている人たちを救うことになり、助けを求める力になる。声を出していく力をつけることも、人権教育の中で大切ではないかな。
- ・子ども達に対するテレビの影響などについて、子ども達が情報を取捨選択し、テレビなどの情報を何でも真に受けず、自分の中で噛み砕いて行動につなげられることは理想ではあるだろうが、なかなか難しいと思う。
- ・マスコミ業界が持っている責任はすごく大きい。特に今、テレビやインターネットで子どもたちが何でも自分たちで見たいものを見ることができてしまうため、情報を出す側が気をつけていかないといけない。
- ・インターネットの怖さというのは、差別的な情報なども簡単に見えてしまうこと。こうしたことは何とかしなくてはいけない。もう一つは個人や企業に対する誹謗中傷なども自分の名前を出さずにやれてしまう。
- ・外国の人に対する警戒心なども、実際に交流して風俗や習慣の違いなどお互いに理解をすればそうでないことがわかるが、偏見等を変えることは難しい。
- ・学校教育において、判断力の養成は非常に大切だと思う。
- ・人権指導者研修などのお役所言葉では誰も参加しない。実際に使う言葉そのものもわかりやすい、丁寧なものでなければいけない。
- ・人権問題に関しては子どもの教育が一番大事だと思う。外国の人に対しても、お互いの生活習慣が違うので、文化を大事にして、お互いに理解しあえる環境をつくっていくことが、学校の大切な仕事だと思う。

(学校支援課)

- ・小学校の段階で多文化とどう出会い、どういう体験をしたのかということが重要であり、外国人の多い地域、外国人児童生徒が多く在籍している学校では、特に、共生という視点からの教育の充実を図っている。
- ・教育委員会では、実際に、外国人児童生徒が多く在籍している学校を訪問し、日本語指導の様子を見るなどして、現場の課題を把握している。今後も現状を把握することに努め、意見を生かしていきたいと考えている。

(委員)

- ・人間がそれぞれの違いに目がいってしまうのは当たり前で、人間の本質みたいなものを踏まえたところでの啓発や教育でないといけない。
- ・性同一性障がい等についても、そうした児童生徒の受け入れについて、地域の行事を通してお互いの理解が進んだ。
- ・性同一性障がい等についても時間と努力によって社会の変化と共に変わっていくだろう。手話通訳や要約筆記のように、そのことを求める人々、それを支援する人、それに応える人がいて、このように実現してきたということを私たちは忘れてはいけない。
- ・委員の皆さんが生活や職場で、県にきちんと対応してもらいたいということがあったら、すぐに県にアドバイスなり、提言なりをお願いしたい。

(事務局)

- ・本日は人権啓発の本質論に関わるようなお話を頂戴できた。
- ・周囲の人達への声かけや想像力について、今後の研修や人権啓発の中で十分生かしながら、今後の方向性として、性同一性障がいや女性、障がい者などの個別の問題をきっかけとして広く人権問題として広げていくことも有効という感想を持たせていただいた。
- ・委員の皆様からのアドバイスや提言についてもよろしくお願ひします。

(以上)